

令和元年度12月補正政策予算説明資料

保健部

事業名	ロタウイルスワクチン接種費用助成事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 予防費		
総合計画の体系	第7章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
担当課名	健康推進課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

ロタウイルスは5歳未満の乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルスであり、感染力が非常に強く、冬から春にかけて流行する。入院治療を要することも多く、脳炎などの重篤な合併症を引き起こすこともある。このロタウイルス性胃腸炎の発症予防や重症化予防にはワクチン接種が最も有効であり、より多くの乳児に、ワクチン接種を促進するため、現在任意で行われている予防接種について、令和2年1月より新規事業として接種に係る費用の1/2を助成するもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H30	R1	R2	最終年度
ロタウイルスワクチン接種率	%	—	95.0	95.0	95.0

◆参考情報

- ロタウイルスワクチンについて
 - ①ロタリックス 生後6週から24週までに（2回）接種
 - ②ロタテック 生後6週から32週までに（3回）接種
 ＊標準的には生後8週で接種し、4週間の間隔をあけて2回目（または3回目）を接種する。
- 国においては、令和2年10月（8月生まれ以降の乳児）から定期接種化の方針が決定している。

◆予算情報

（単位：千円）

年度	H30予算	R1予算			R2予定
		補正前	補正額	計	
事業費			6,000	6,000	14,160
主要な経費	補助金		6,000	6,000	13,473
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源		6,000	6,000	14,160
	一般財源				

事業名	くじらの街下関推進事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
担当課名	水産課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

本市が目指している沖合母船式捕鯨の母港化への取組として、安定した鯨肉の陸揚げ及び母船式捕鯨船団の本市への帰港を促進することを目的として、下関港への係留に対する補助制度を創設するもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H30	R1	R2	最終年度
商業捕鯨による鯨肉の陸揚げ量	t	—	1,000	1,000	1,000

◆参考情報

- R1. 6.30 国際捕鯨取締条約脱退により、新南極海鯨類科学調査終了
- R1. 7. 1 商業捕鯨再開（排他的経済水域（EEZ）内での操業）
商業捕鯨再開により、本市は母船式捕鯨の基地として位置づけられる
- R1.10. 4 母船式捕鯨船団の本市帰港 鯨肉陸揚げ（約1,060 t）

補助制度概要 下関市母港化促進補助金
下関港への係船経費に対する補助

◆予算情報

（単位：千円）

年度	H30予算	R1予算			R2予定
		補正前	補正額	計	
事業費	4,558	10,000	5,200	15,200	18,500
主要な経費	学校給食用鯨肉購入	3,300	6,000	6,000	6,000
	捕鯨船団寄港に係る支援業務等	1,258	4,000	4,000	4,000
	補助金		5,200	5,200	8,500
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	4,558	10,000	5,200	15,200